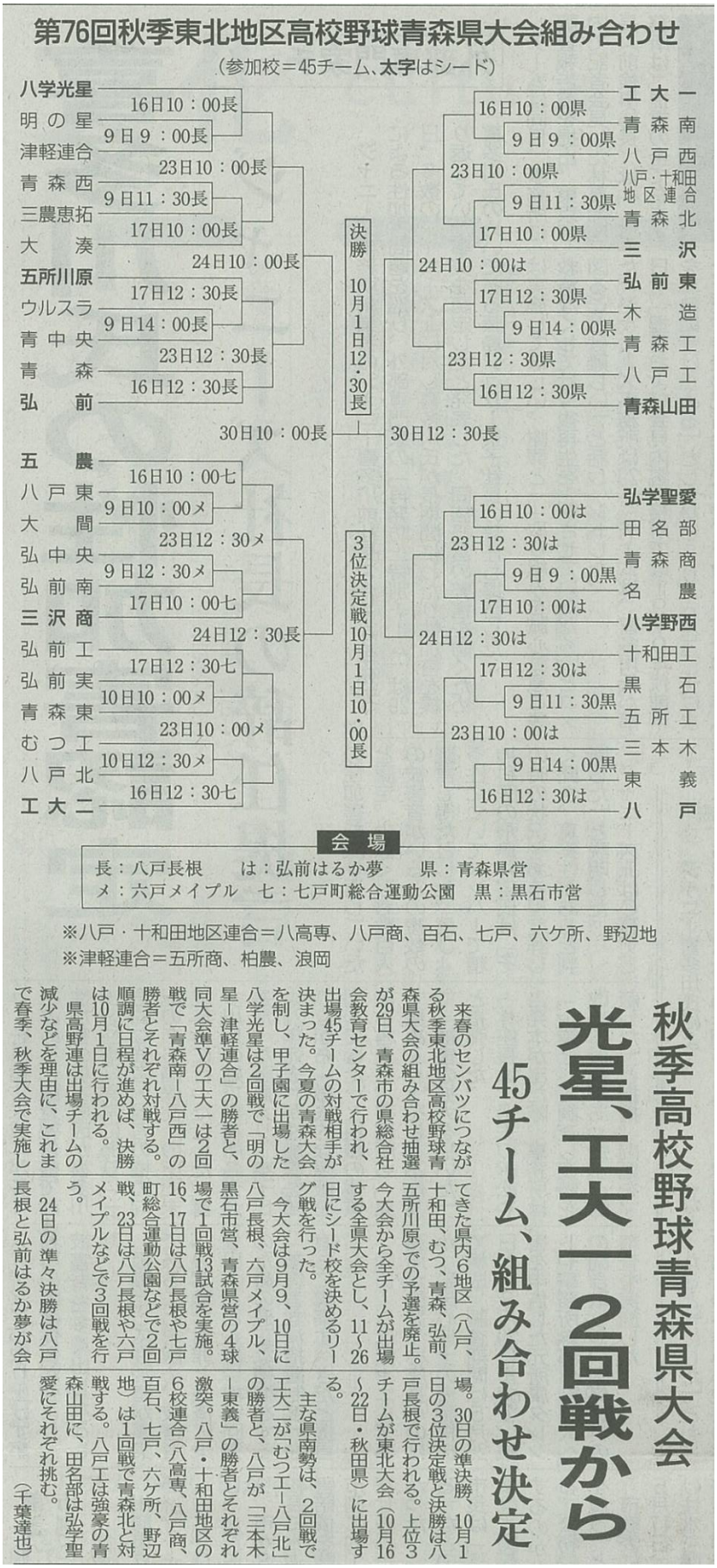
２０２３年（令和５年）　８月３０日　水曜日

デーリー東北　１５面　掲載



秋季高校野球青森県大会
光星、工大一2回戦から
45チーム、組み合わせ決定

来春のセンバツにつながる秋季東北地区高校野球青森県大会の組み合わせ抽選が29日、青森市の県総合社会教育センターで行われ、出場45チームの対戦相手が決まった。今夏の青森大会を制し、甲子園に出場した八学光星は2回戦で「明の星－津軽連合」の勝者と、同大会準Vの工大一は2回戦で「青森南－八戸西」の勝者とそれぞれ対戦する。順調に日程が進めば、決勝は10月1日に行われる。

県高野連は出場チームの減少などを理由に、これまで春季、秋季大会で実施してきた県内6地区（八戸、十和田、むつ、青森、弘前、五所川原）での予選を廃止。今大会から全チームが出場する全県大会とし、11～26日にシード校を決めるリーグ戦を行った。

今大会は9月9、10日に八戸長根、六戸メイプル、黒石市営、青森県営の4球場で1回戦13試合を実施。16、17日は八戸長根や七戸町総合運動公園などで2回戦、23日は八戸長根や六戸メイプルなどで3回戦を行う。

24日の準々決勝は八戸長根と弘前はるか夢が会場。30日の準決勝、10月1日の3位決定戦と決勝は八戸長根で行われる。上位3チームが東北大会（10月16～22日・秋田県）に出場する。

主な県南勢は、2回戦で工大二が「むつ工－八戸北」の勝者と、八戸が「三本木－東義」の勝者とそれぞれ激突。八戸・十和田地区の6校連合（八高専、八戸商、百石、七戸、六ケ所、野辺地）は1回戦で青森北と対戦する。八戸工は強豪の青森山田に、田名部は弘学聖愛にそれぞれ挑む。（千葉達也）

デーリー東北新聞社提供